

記入例

様式第1号(第2条関係)一A

(表)

奨学生願書				※ 受付番号
※ 決定番号	年一	※ 決定区分	県立高・私立高・高等専・公立短大 私立短大・公立大・私立大・条例第2条第5号	

学校が記入する箇所ですので、
在校生（1年生の場合は卒業した
学校）へ記入を依頼して下さい。

在 学 校 欄	学校名			学校長捺印 校長名
	所在地	電話()	—	

- 申請者は学生本人です。
- 本籍及び現住所は、番地、部屋番号まで正確に記入して下さい。
- 電話番号は必ず記入して下さい。

「貸与期間」は在学する正規の就学期間を記入して下さい。(修学期間が3年間の場合は「令和8年4月1日～令和11年3月31日」となります。)

申請者欄							
申請者	みなみあいづ じろう	男	女	生年 月日	平成〇〇年〇月〇日 (満〇歳)		
本籍	申請者本人の本籍を記入	現住所	申請者本人の現住所・電話番号を記入 電話()—				
奨学資金	① 貸与期間	自 至 年 月 日	※ 貸与月額	月額	円		

- 「家族」は本人と生計を一にする者全員を記入して下さい。
- 「年齢」は申込み時現在で記入して下さい。
- 「職業」は学生の場合「〇〇1年」など学年まで記入して下さい。
- 下宿等により別居している場合も、数字に×をつけてください。

「連帯保証人」は原則保護者として下さい。

家 族 の 状 況	氏 名 <small>家計支持者には○、 別居者には×</small>	続柄	年 齢	職 業	在 職 先 在 学 先	疾 病 の有無	収入(税込) 千円	所得(税込) 千円
	1 南会津 太郎	父	43	会社員	〇〇会社	無		
2 南会津 花子	母	41	主婦		無			
✗ 南会津 次郎	本人	19	大学1年	〇〇大学	無			
4 南会津 一郎	兄	22	会社員	〇〇会社	無			
5								
6								
7								
8								
9								
計	人							
連帯保証人欄								
連帯保 証人名	みなみあいづ たろう	申請者と の 続 柄	父	生年 月日	昭和〇〇年〇月〇日			
本籍	連帯保証人の本籍	現住所	現住所・電話番号 電話()—			年間所得額(税込額) 千円		

収入(税込)、
所得(税込)欄は
空欄として下さい。

家族の状況欄に記入された方
で収入がある方については、全
て市町村が発行する所得証明
書を添付して下さい。

記入例

(裏)

参考事項	在学中の学校(科)名		進学予定学校(科)名	
	○○○ 学校		第1志望校	第2志望校
	○○○○ 科	1 年在学	○○○○ 学校	○○○○ 学校
	奨学金を希望する理由	父または母の収入が減少していることから、少しでも家計の負担を少なくするために、奨学金を希望します。など		
	本人の履歴	年月日	履歴事項	
		○○年 4月 ○日	○○町立 ○○中学校入学	
		○○年 3月 ○日	○○町立 ○○中学校卒業	
		○○年 4月 ○日	○○県立 ○○高等学校卒業	
		○○年 3月 ○日	○○県立 ○○高等学校卒業	
	1箇月当たりの平均学費	収入(円)		支出(円)
家庭から		80,000 円	生活費	63,300 円
内職(アルバイト)から		40,000 円	交通費	8,700 円
町奨学資金から		37,000 円	学校納付金	80,000 円
その他から			書籍・学用品	5,000 円
			その他	
計		157,000 円	計	157,000 円
以上の記載事項に相違ありません。				
奨学生として採用された場合は、南会津町奨学資金の貸与に関する条例その他関係規則の規定を守り、奨学生としての責務を果たすことはもとより、奨学資金の返還についても誠実にその義務を履行します。				
万一、正当な理由なく、奨学資金の返還を怠った場合には、返還期限にかかわらず返還未済の金額に対する一括返還の請求を受けても、また、強制執行の手続をとられても、異議ありません。				
上記のとおり連帯保証人と連署して誓約します。				
令和 ○○年 ○月 ○日				
南会津町教育委員会				
申請人 南会津 次郎 ㊞				
連帯保証人 南会津 太郎 ㊞				

「学校納付額」は入学金を除いた年間納付額を12カ月で割った金額を記入して下さい。

※申請者、連帯保証人の印はそれぞれ異なるものにして下さい。

様式第1号(第2条関係)-Aの「連帯保証人欄」の連帯保証人名を記入して下さい。

※判定控除分	項目	人 数	金額 千円	備 考
	総所得額(A)			
	母子家庭			
	就学者			
	疾病者			
	その他			
	計(B)			
	差引(A-B)			
	基準			

記入上の注意

- (1) 「※」印の欄は、記入しないでください。
- (2) 「在学校欄」は、学校で記入押印してください。
- (3) 「本人履歴」欄には、中学校卒業以降の学歴等について記入してください。
- (4) 「1箇月当たりの平均学費」の欄には、在学生は最近のもの、新入生は入学後の1箇月当たりの見込み額を記入してください。
- (5) 資料として、前年の所得証明書(様式A)を添付してください。